

La modernité dans l'édition d'art française

—De la caricature du début du xx^e siècle aux revues graphiques des années trente, en passant par les livres illustrés Art déco—

Collection KASHIMA Shigeru



鹿島茂コレクション

フランスのモダングラフィック展

—20世紀初頭の風刺画からアール・デコ挿絵本、1930年代グラフィック雑誌まで

主催：群馬県立館林美術館

後援：在日フランス大使館/アスティフェ・フランス、(一社)群馬日仏協会

協力：株式会社/EM、練馬区立美術館

観覧料：一般 830 (660) 円、大高生 410 (320) 円

※()内の観覧料は、20名以上の団体割引料金 ※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※群馬県在住の65歳以上の方は平日のみ2割引

2025

4.26 sat > 6.29 sun

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日：月曜日(4月28日、5月5日を除く)、5月7日(水)

群馬県立館林美術館

Gunma Museum of Art, Tatebayashi

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003

Tel. 0276-72-8188 <https://gmat.pref.gunma.jp/>



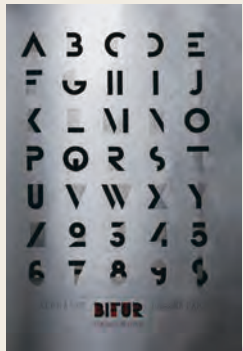
「ガゼット・デュ・ボン・トン」1921年6月号(絵:ジョルジュ・ルバップ)
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 G3758



「フィエ・ダール」第1号、1921年



「青い鳥」1945年
(著:モーリス・メーテルランク、
絵:アンドレ・エドゥアル・マルティ)
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 G3758



「ビフール体」
(デザイン:A.M. カッサンドル)
「アール・ゼ・メティエ・グラフィック」
第9号、1929年
© www.cassandre.fr APPROVAL by the ESTATE OF
A.M. CASSANDRE / JASPAR 2025 G3758

本展は、膨大な古書コレクターとして知られるフランス文学者、鹿島茂氏のコレクションより、20世紀前半フランスの書籍・雑誌におけるグラフィック・イラストレーションや写真の図版に注目し、新しい時代の表現、すなわち「モダン」の様相を探るものです。

20世紀初頭のフランスでは、まず風刺雑誌において、前世紀から続くブルジョワ社会や政治の混乱を皮肉な斬新な表現が現れました。ここで頭角を現した若いイラストレーターたちは、続いて、革新的なモード(ファッション)や舞台芸術との接点で、色彩を平面的に使用する華やかなイラストレーションを生み、フランス・モダンの開花を告げます。

第一次世界大戦後は、細い線描や余白を特徴とする瀟洒なイラストレーションが好景気に沸く都市生活と時代の空気を伝え、豪華な挿絵本や美術雑誌が生み出されました。1925年の現代装飾美術・産業美術国際博覧会報告書を始めとする出版物は、写真図版も用いて、アール・デコの工芸や都市デザインを伝えます。✓✓✓



「ル・モ」第16号、1915年
(表紙:ジャン・コクトー)
© Adagp/Comité Cocteau, Paris 2025 G3758



「ル・ボン・マルシェのアジャнда」1929年



「ヴェ」第376号、1935年

掲載画像全て: ©NOEMA Inc. Japan

写真や印刷技術の発展によりグラフィックの主役は次第に写真へ移るとともに、1920年代末に創刊されたグラフィック雑誌『アール・ゼ・メティエ・グラフィック』や写真報道雑誌『ヴェ』は、モダンなタイポグラフィやエディトリアルデザインを世に送り出しました。

本展ではさらに、変化する時代を通じて活躍した敏腕編集者リュシアン・ヴォージュールや、時代の生活感覚を映し出すデパートの出版物にも注目し、鹿島コレクションならではの視点から「モダン」に迫ります。

20世紀前半の鹿島コレクションを総覧する本展を通して、フランスのモダングラフィックの豊かな世界をご堪能ください。

event

会期中のイベント

*各事業の詳細・申込方法はHPをご覧ください、
直接お問い合わせください。
<https://gmat.pref.gunma.jp/event/>

オープン記念トーク [申込不要・要観覧券・講堂・定員130名]

4/26(土) 14:00~14:30
講師:鹿島茂氏(フランス文学者・本展出品者)

記念講演会「フランスのモダングラフィック」

[要申込・要観覧券・講堂・定員130名]
5/25(日) 14:00~15:00
講師:鹿島茂氏

学会員によるギャラリートーク

5/11(日)、6/18(水) 各日14:00~(約40分) [申込不要・要観覧料]

2025・ボンボン生誕170周年記念イベント

*詳細はHP・SNSでお知らせします

一たてびづマルシェ

6/8(日) 11:00~16:00 会場:別館ワークショップ室

一ボンボン・ツアー

6/8(日) 11:00~14:00(各、約30分) [申込不要]*参加記念品つき

たてび☆キッズウォーク

5/24(土)、6/28(土) 各日13:00~15:30 [申込不要・中学生以下対象・無料] *自由な時間に参加できます *参加記念品つき

たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」

6/21(土) 13:30~15:30 [申込不要・無料] *自由な時間に参加できます

たてびシアター『大竹直×加藤亮佑×酒巻洋による、それぞれのひとり芝居』

5/16(金)~18(日) 会場:別館ワークショップ室
お問い合わせ先: sorezoren1@gmail.com

information

交通案内

車:東北自動車道 館林I.C.から約9km、北関東自動車道 太田桐生I.C.から約15km
バス:「館林駅西口」から、多々良巡回線バスにて「県立館林美術館前」下車すぐ(日・祝は直行便あり)。「多々良駅」または「館林駅西口」から、多々良北線バス(火・木・土のみ運行)にて、「美術館西」下車、徒歩5分。
徒歩:多々良駅から約1.2km(約20分)
タクシー:館林駅から約4km(約10分)

東京都内からのご案内

・浅草駅または北千住駅から東武スカイツリーライン・伊勢崎線にて館林駅または多々良駅下車。特急「りょうもう」の場合、浅草駅(北千住経由)~館林駅の所要時間は約60分。
・JR宇都宮線ご利用の場合は、久喜駅で東武伊勢崎線に乗り換え。久喜駅~館林駅の所要時間は約30分。

インフォメーション

群馬県立近代美術館
「マリノ・マリニ~新収蔵の版画作品を中心に~」
4/19(土)~6/8(日)
tel. 027-346-5560
足利市立美術館
「橋口五葉のデザイン世界」
4/5(土)~5/18(日)
「プラチナラバからやってきた!世界の絵本パレード」
5/24(土)~7/6(日)
tel. 0284-43-3131
館林市第一資料館
「館林市立資料館収蔵資料展」
3/15(土)~7/6(日)
tel. 0276-74-4111

バス時刻表

多々良巡回線

[平日・土]

館林駅西口	県立館林美術館前	館林駅西口	館林駅西口	県立館林美術館前	館林駅西口
8:55	9:22	9:38	9:05★	9:17	9:29
9:55	10:22	10:38	9:55	10:22	10:38
10:55	11:22	11:38	10:55★	11:07	11:19
11:50	12:17	12:33	11:35	12:02	12:18
13:40	14:07	14:23	13:20★	13:32	13:44
14:35	15:02	15:18	14:00	14:27	14:43
15:30	15:57	16:13	15:05★	15:17	15:29
16:25	16:52	17:08	15:45	16:12	16:28
			16:45	17:12	17:28

多々良北線(火・木・土のみ)

[日・祝]

多々良駅	美術館西	館林駅西口	館林駅西口	美術館西	多々良駅
9:10	9:14	9:53	10:15	10:46	10:58
11:10	11:14	11:53	12:15	12:46	12:58
			14:10	14:41	14:53



群馬県立館林美術館

Gunma Museum of Art, Tatebayashi
〒374-0076 群馬県館林市日向町2003
tel. 0276-72-8188 (代表) fax. 0276-72-8338
<https://gmat.pref.gunma.jp/>

